

宇宙ってどんなところ？

R8.9.15

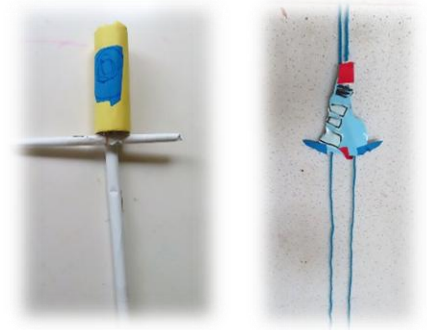
ロケットを作ろう！

♪『どんな色がすき』の歌に親しみ、春からクレヨンや絵の具で遊ぶことを楽しんできました。夏になって♪『くれよんロケット』を歌うようになり、ロケットに興味を持って、自分のロケットを作ってみました。

以上児は、まず設計図を書いて形などを決めます。窓がいっぱいだったり、炎をつけたり…。いざそれを画用紙で作ろうとすると、難しくて悩む姿もありましたが、完成すると「見て！」と、嬉しそうに見せてくれましたよ。

その後は、動くロケット作り。トイレットペーパーの芯とゴムを使って「ピョン」と跳ぶようにしたり、ストローと紐を付けて上に昇るようにしたりと、自由に動かして楽しんでいます。跳ぶロケットは、広場の天井の星まで届くように…と狙って遊んでいました。

さらに歌詞の中には『金星人、きっと手を振って…』とあるので「金星人って何？」と疑問に思うようになりました。そして「宇宙ってどんなところ？」「他に何があるの？」とどんどん興味が広がって、調べてみると「地球」「火星」「土星」などたくさんの惑星があることを知りました。画用紙でそれらの惑星を作ったり、他に太陽、月も作り、「星とか宇宙人はたくさんあってもいいね」と、小さい子たちはなぐり描きや手形を押して参加し、それを形にして、全員で宇宙作りに取り組んでいます。



宇宙ステーション ～☆と☆をつなぐ迷路～

広場には、宇宙ステーションを作ってみました。大型積木を並べ、友だちと「ここ入口にしよう」などとイメージしながら迷路を作っていきます。そして「どうやったら宇宙に見えるか？」「小さい子にもわかるか？」という話になり、「星を飾ればいい」「歩く所がわかるようにすれば？」「看板作ろう」などと意見が出ました。さらに「地球をもっと大きいのが作れば？段ボールとかで」「くれよんロケットも作ろう」と、イメージはどんどん広がり、全員で宇宙の空間を楽しめるように…と取り組んでいるところです。

大きい子たちが作っていると、小さい子もやりたくってハサミを取り出したり、星がはがれるとセロテープで付け直そうとする姿があります。みんなで協力しながら一緒に作って遊んで、宇宙の活動を楽しんでいます。

